

# 令和5年度 北海道木材需給実績について(概要版)

## 1. 概要

- ・ 木材の総需要・総供給量は5,848千m<sup>3</sup>で、前年度に比べて522千m<sup>3</sup>減少（対前年度比 91.8%）。
- ・ 道産木材自給率は、前年度より3.6ポイント上昇し、73.5%。

	総 計 (千m <sup>3</sup> )	需 要					供 給		
		製材用 (千m <sup>3</sup> )	パルプ用 (千m <sup>3</sup> )	合板等用			道産木材 (千m <sup>3</sup> )	輸入材 (千m <sup>3</sup> )	道産木材 自給率
				合板用 (千m <sup>3</sup> )	未利用材用 (千m <sup>3</sup> )	その他用 (千m <sup>3</sup> )			
R4実績	6,370	2,181	2,098	489	1,085	517	4,450	1,920	69.9%
R5見込	5,848	1,702	1,944	432	1,370	400	4,297	1,551	73.5%
<b>R5実績</b>	<b>5,848</b>	<b>1,702</b>	<b>1,944</b>	<b>432</b>	<b>1,370</b>	<b>400</b>	<b>4,297</b>	<b>1,551</b>	<b>73.5%</b>
R5実績 ／R4実績	91.8%	78.0%	92.7%	88.3%	126.3%	77.4%	96.6%	80.8%	3.6p上昇

## 2. 需要量及び供給量の内訳

- ・ 需要については、製材用が1,702千m<sup>3</sup>と令和4年度より479千m<sup>3</sup>減少、パルプ用は1,944千m<sup>3</sup>で154千m<sup>3</sup>減少、合板用は432千m<sup>3</sup>で57千m<sup>3</sup>減少、未利用材用は1,370千m<sup>3</sup>で285千m<sup>3</sup>増加。
- ・ 供給については、道産木材が4,297千m<sup>3</sup>で令和4年度より153千m<sup>3</sup>減少、輸入材は1,551千m<sup>3</sup>で369千m<sup>3</sup>減少。

		R5実績 (千m <sup>3</sup> )	R4実績 (千m <sup>3</sup> )	R5-R4 (千m <sup>3</sup> )	R5/R4	備 考	
需 要 量	製材用	<b>1,702</b>	2,181	▲ 479	78.0%	・ 道産原木消費量の減少 ・ 針葉樹輸入量の減少	
	パルプ用	<b>1,944</b>	2,098	▲ 154	92.7%	・ 道産原木消費量の減少 ・ 広葉樹チップ輸入量の減少	
	合 板 等 用	合板用	<b>432</b>	489	▲ 57	88.3%	・ 道産エゾトド原木消費量の減少 ・ 合板輸入量の減少
		未利用材用	<b>1,370</b>	1,085	285	126.3%	・ エネルギー利用量の増加
		その他用	<b>400</b>	517	▲ 117	77.4%	・ 道産原木消費量の減少（移出等）
供 給 量	道産木材	<b>4,297</b>	4,450	▲ 153	96.6%	・ 道産原木供給量の減少（製材用、パルプ用等）	
	輸入材	<b>1,551</b>	1,920	▲ 369	80.8%	・ 製品輸入量の減少（製材、集材等）	